

キーワード： 基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用

学力向上に向けた取組

函館市立 北中 学校

1 課題

○思考力・判断力・表現力を高め、確かな学力を育む学習指導の工夫

2 課題解決の具体策

○学びあい、高めあい、わかる喜びを味わわせる授業を工夫し確かな学力を育てる。

① 1日の学習のサイクル化を図る。

② 授業の質の向上

③ 努力や成果を認め、励ます指導と評価の工夫

3 取組の概要

① について

新学習指導要領で重視されている「言語活動の充実」の一助として、読解力の向上と落ち着いた学校生活のスタートのために、読書活動を行っている。今年度は、登校時間を変更するなど10分間の読書時間を確保した。

チャイム着席の徹底による授業へのスムーズな移行に加え、休み時間には全教師によるふれあい活動によって、生徒の状況把握やチャンス相談に努めている。また、原則として火曜～金曜の放課後には、退職教員や教育大ボランティアによる数学の放課後学習を実施し、数学のTTと合わせ、個に応じた学習を図っている。冬季休業中には知恵の予算を利用し、地域の人材による数学と英語の学習会を行い、4日間でのべ150人程が参加した。

さらに、学級担任や栄養教諭による本人及び保護者への食育や家庭学習への取り組みの啓発を通し、生活リズムの改善にも継続して取り組んでいる。

②③ について

本年度の校内研修では、CRTテストや全国学力・学習状況調査の結果を踏まえながら、「思考を促す発問・支持」「学習効果を高める学習形態」「板書・ノート指導・プリント教材の工夫」の三つの視点を持ち、全体を4ブロックに分け、授業交流や指導案検討を行い、授業改善を進めた。

また、学校長の経営方針「子どもたちのためにやるべきことをやるべき時に」に基づいて、「難しいことをやさしく、易しいことを深く、深いことをおもしろく」をキーワードに、自己評価や相互交流による他己評価など、各教科において指導と評価の工夫に取り組み、次時につながる授業を目指している。

4 成果と課題

○上記の取り組みにより、落ち着きの中にも活気のある授業が今まで以上に多く見られるようになった。

●①～③のさらなる向上、とりわけ教科の授業と家庭学習との連携をより一層効果的に進めていくことが今後の課題である。